2026年11月27日

報道関係各位

株式会社JPF

自転車の練習から本格的なBMXまで
「サイクルパーク京都」再開後約4か月で延べ640件の利用

～約9か月の休止を経て移転・営業再開、初心者から競技者まで楽しめる2つのエリア～

株式会社JPF（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺俊太郎、以下「JPF」）が運営するBMX施設「サイクルパーク京都」は、京都向日町競輪場の再整備工事に伴う約9か月の休止を経て、2026年7月10日（金）に移転・営業を再開しました。7月10日から10月31日までの利用実績は延べ640件となりました。

サイクルパーク京都は、自転車に乗る練習を始めたばかりの子どもからBMX経験者まで、それぞれのレベルに応じて楽しめる施設です。初心者向けの「エンジョイエリア」と、中級者・上級者向けの「フリースタイルパークエリア」を備え、自転車に親しむところから本格的なBMXへの挑戦まで、幅広い利用者に対応しています。

今回の移転では、フリースタイルパークエリアのコースレイアウトも変更し、技術向上につながる新たなセクションを設置しました。



起伏あるパンプトラックを楽しむ子どもたち

JPF Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

【自転車に乗る練習から楽しめる、初心者向けのエンジョイエリア】

子どもたちが運動に親しむ機会づくりが重視される中、サイクルパーク京都では、自転車を通じて体を動かせる環境を整えています。
初心者向けの「エンジョイエリア」では、キックバイクや自転車を使った平地走行に加え、起伏の高さが異なる「ミディアム」と「レギュラー」の2種類のパンプトラックも利用できます。楽しみながら自転車に親しむことができ、バランス感覚やリズム感を養う機会にもなります。

自転車に乗る練習を始めたばかりの子どもや、初めてBMXに触れる方も利用できます。

また、キックバイクや子ども向け自転車、BMXのレンタルにも対応しています。ヘルメットやプロテクターも貸し出しており、自転車を持っていない方でも利用できます。

10月の利用実績は延べ115件で、このうち未就学児による利用が32件、小学生による利用が43件と、小学生以下が全体の約65%を占めました。主な利用者はBMX経験者の小学生で、休止前から通っていた子どもたちも再び施設を訪れています。



パンプトラックで自転車の操作に挑戦する子ども

【楽しみながら技術を磨き、本格的なBMXにも挑戦】

BMXの基本操作に慣れ、さらに技術を磨きたい方は、中級者・上級者向けの「フリースタイルパークエリア」で、ジャンプやトリック（技）など、習熟度に応じた練習に取り組めます。公式大会への出場を目指す競技者の練習場所としても利用されています。

今回の移転では、近年のBMXフリースタイル・パークの公式大会で見られるコンパクトなコース構成を意識し、ジャンプ台などのセクション（障害物）をつなぐ平坦な部分を以前より短くしました。

JPF
Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

ペダルをこいで加速できる距離が短くなるため、着地後に体の動きを使ってスピードを生み出す「プッシュ」の技術がより重要になります。再開当初は新しいレイアウトに苦戦する利用者もいましたが、練習を重ねる中で加速のコツをつかみ、勢いよくジャンプできるようになる姿も見られました。

また、壁面を走行する「ウォールライド」に挑戦できるセクションを新たに設置しました。ジャンプやトリックに加え、多様な技に挑戦できる環境を整えています。



新たに設置したセクションでウォールライドに挑戦する利用者

【一人ひとりの挑戦を後押しし、自転車を楽しむ機会を広げる】

サイクルパーク京都では、利用者がそれぞれのペースで技術を身につけ、次のステップに挑戦できる環境づくりを進めています。

新たな取り組みとして、BMXの基本操作を身につけた初級者が上級セクションに挑戦できる「チャレンジタイム」を設けました。この時間は中級者・上級者の利用を一時的に休止し、初級者が安心して練習できる環境を整えています。

チャレンジタイムは1回15分で、月・火・木・金曜日は14:45～15:00、土日祝は11:45～12:00と14:45～15:00に実施しています。

また、2026年10月3日（土）には初級者向けBMXスクール「BASIS（ベイシス）」と応用スクール「APPLY（アプリ）」を約1年ぶりに再開しました。両スクールでは参加者の経験や習熟度に応じた練習を行っており、今後も継続して開催する予定です。

関連リリース：京都でBMXの初心者向け・応用スクールが約1年ぶりに再開！
※現在、BASISはスクール区分の定義変更に伴い、「初級者向け」と表記しています。

JPF Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

さらに、今後はエンジョイエリアにシーソーや一本橋などの設備を増設し、遊びながら自転車の操作技術を身につけられる環境を充実させる予定です。

今後も、自転車に親しむきっかけづくりから本格的なBMXへの挑戦まで、利用者一人ひとりが楽しさや成長を感じられる環境を整え、地域に親しまれる施設を目指します。

【サイクルパーク京都 運営担当者コメント】

「営業再開を心待ちにしていた子どもたちが、初日から乗りに来てくれたことをうれしく思っています。

今回の移転では、利用者が新しい技術に挑戦できるよう、コースレイアウトにも工夫を凝らしました。初めは思うように走れなかった子どもたちが、練習を重ねる中で少しずつコツをつかみ、できなかったことができるようになっていく姿を見ることに、大きな喜びを感じています。

また、近隣の方々ともコミュニケーションを重ね、現在では応援の声をかけていただくこともあります。

これからも利用者の声を大切にしながら、初めてBMXに触れる方にも、競技に打ち込む方にも、それぞれの楽しさや成長を感じてもらえる施設にしていきたいと考えています。」

【サイクルパーク京都 施設概要】

施設名：サイクルパーク京都

営業再開日：2026年7月10日（金）

所在地：京都向日町競輪場 第4駐車場Dエリア付近

営業時間：平日：12:00～17:00
土日祝：10:00～17:00

定休日：水曜日（祝日の場合は翌日に振替）

施設利用料金（**1**日）：中学生以下：200円
高校生：300円
大人：500円

レンタル料金：500円／1時間

利用方法：通常の施設利用は事前予約不要です。

支払い方法：現金のみ

アクセス：お車でお越しの際は、京都向日町競輪場の無料駐車場をご利用ください。駐車場から施設までの道順は公式サイトでご確認いただけます。

公式サイト：https://kyoto-mukomachikeirin.com/bmx/

公式**Instagram**（京都向日町競輪場）：@kyoto.m.keirin

JPF Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

※レンタル料金には、キックバイクや子ども向け自転車、BMXのほか、ヘルメット・プロテクター等の貸し出しも含まれます。

※フリースタイルパークエリアの利用にはスポーツ安全保険への加入が必要です（別途保険料がかかります）。エンジョイエリアの利用料金には保険料が含まれます。

※小学生以下は保護者の同伴が必要です。

※天候や暑さ指数などにより、営業時間の変更や休園となる場合があります。最新の営業情報は公式Instagramをご確認ください。

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

公式サイト：https://www.jpf.co.jp/

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。
https://drive.google.com/drive/folders/1j8_WFYdSEU7xtIfC8WEaddgfvTBrS-GW

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF 京都事業所

担当：織田浩孝/佐伯進

TEL：075-921-7755

E-mail：kyoto@jpf.co.jp

施設の取材をご希望の報道関係者の方も、上記までお問い合わせください。

JPF Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.